

9月定例会

●会期 9月5日～10月4日(30日間)

30年度各会計決算を認定 提出された全議案を可決



議場にりんどうを飾った9月定例会

今回は	
報告	1件
市長提出議案	25件
議員提出議案	2件
請願	1件

【議案第24号】 令和元年度八幡平市一般会計補正予算(第3号)

前年度繰越金加え
総額216億円に

歳入、歳出それぞれ480万円を増額し、累計216億3288万円とするもので、今回の補正の主な歳出は次のとおりです。

- ▼繁殖育成センター事業費 500万円
- ▼総務管理費 20万円(減額)

Q ふるさと応援寄附金はりんどうの品種開発などを始め、多くの産業振興対策に使われている。今回の事件を受けての影響はないか。

A りんどうの品種開発も含めて多角的に検討すべき課題である。

Q ふるさと応援寄附金を優先的に、産業振興対策に振り向けていくべきではないか。

A りんどうは市を代表する特産品として、ふるさと納税者の皆さまにも広くアピールしていきたい。

討論(最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める請願)

【反対討論】 羽沢寿隆議員(八起会)

最低賃金をいきなり1千円まで引き上げるということは、中小零細企業、農家の8割が赤字決算である現状を踏まえ、と、より経営を圧迫し倒産や廃業を招き結果として多くの失業者を生み出しかねない。現に韓国では賃金を大幅に引き上げた結果、失業者が過去最高を記録し、経済は大混乱に陥っている。最低賃金は中小零細企業へのケアをしなから、徐々に上げていくべきであって、マクロ経済を無視した小手先だけの政策はするべきではない。

【賛成討論】 熊澤博議員(自由クラブ)

中小企業の7割は赤字経営で、最低賃金を1千円に引き上げるためには政府の援助が必要である。中小企業などが求める支援策は、赤字でも負担しなければならぬ社会保険料の減免措置である。若い働き手は高い賃金を求めて首都圏に出ていき、地域は疲弊し限界集落となっていく。生活保護の50%は単身高齢者世帯である。全国一律最賃制の実現は、地方の個人消費も活性化させる。国内経済を潤し税収も増え、財政健全化につながる。

※最賃制=最低賃金法に基づき、最低賃金額以上の賃金を支払わなければならないとする制度。

【議案第11号】 令和元年度八幡平市一般会計補正予算(第2号)

5億658万円
増額の補正予算

歳入、歳出それぞれ5億658万8千円を増額し、累計216億2808万円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

- ▼財政調整基金積立金 3億3172万円
- ▼企業立地促進事業費補助金 1億52万円
- ▼児童扶養手当給付費 1775万円
- ▼市道等軽舗装工事 1千万円

Q 軽舗装の市民要望が多い。補正予算1千万円は、前年度の総額予算に比較して少ないが、要望にどう応えるか。

A 今回の補正予算は、大更地区4路線、安代地区4路線で、延長1750mを予定している。一般財源で充当しているのので他事業と調整し、安価で効率的に成果が得られるよう、検討する。

令和元年第3回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果

議案名	議員名(会派名)																				議決結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
議案第15号	関	羽	工	勝	北	工	田	井	立	渡	工	古	田	高	熊	関	高	米	小	工	原案認定
請願第2号	治	沢	藤	又	口	藤	村	上	花	辺	藤	川	村	橋	澤	善	橋	田	野	藤	採択
発議案第2号	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	原案可決

※賛成=○、反対=● 工藤剛議長は採決に加わりません

Q トイレ撤去(65・5平方メートル)設計業務委託料80万円(総額180万円)は、旧トイレを壊すための業務委託料補正予算である。取り壊すのに、180万円も掛けて設計図を作成する必要性と根拠は。設計と施工を一体的に執行できないか。

A 公共工事は、設計書や図面を付して入札するのが一般的であるが、前にもご指摘があったので1千万円以下の工事では「設計・施工」を一体的に行うやり方を試行中である。この方法は、割安で短期間に施行できるなどの利点が多い。市建設業組合とも協議し進めたい。

Q りんどう以外の花き研究開発の取り組み状況は。

A りんどうは収益性が高いがこれにもう一品目プラスできるような努力していきたい。歳入の県支出金、企業立地促進奨励事業費補助金4270万円の内容は。

Q 新規に、トラウトガーデン付近に建設する(株)太極舎のビール製造工場の立地が具体化したので計上した。